

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

異業種参入により、民間主体で、ジビエに適した捕獲技術の普及から衛生的な処理加工技術の確保まで、総合的に展開。

とろ 所産業株式会社及び

株式会社キサラエフアールカンパニーズ

（代表者：所産業株式会社 代表取締役 春日将志

株式会社キサラエフアールカンパニーズ 代表取締役 所千加）

主な取組

岐阜県揖斐川町

所産業(株)は総合建設業から町内の侵入防止柵設置作業の支援に参入し、さらに社員自ら狩猟免許を取得し、平成25年度から獣害対策事業を本格化。ジビエに適した捕獲技術の普及に取り組むとともに、高校・大学などの若年層を対象とし将来を見据えた人材育成を実施。

子会社の(株)キサラエフアールカンパニーズは、処理加工施設のほか、レストランや食肉製品加工所を建設。処理工程毎の検査結果などのデータを蓄積、衛生状態の向上に努めている。また、ぎふジビエ衛生ガイドラインの普及と衛生意識の向上のため、処理加工技術の講習会を実施。

また、他の業者とともに民間主体の「ぎふジビエ推進ネットワーク」を立ち上げ、県や岐阜大学と連携した広域的なジビエの普及活動を実施。

民間団体が主体となって、ジビエに適した捕獲技術の普及、衛生的な処理加工技術の確保などを総合的に展開しているモデルとして、評価できる。